「公共工事コスト構造改革プログラム」
【 施策名：（3） 調達の最適化 【1】入札・契約の見直し 】

複数年工事の一括発注方式によるコスト縮減

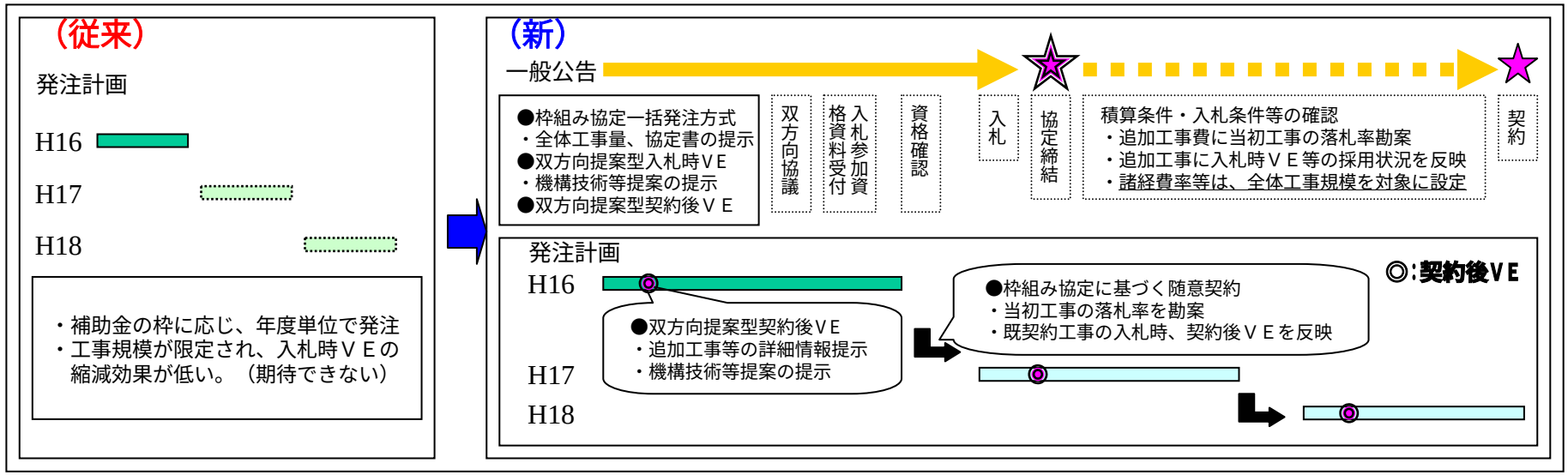
工事名：越谷レイクタウン地区レイクタウン北線外道路築造その他工事

概　要：（従来）　　（新）

補助金に対応した単年度発注 ⇒ 複数年工事を発注する条件で一般公告。（枠組み協定一括発注方式）
入札は、平成16年度工事に対して実施し、次年度以降は、枠組み協定に基づき、追加工事を随意契約。
積算における諸経費率等は、全体直接工事費を対象とした諸経費率等を設定。

効　果：

①複数年工事をまとめることによる発注ロットの大型化、入札時ＶＥの活用による縮減
■ 本年度工事費を、395百万円から347百万円に縮減。（縮減額48百万円（内ＶＥ効果、14百万円））
②複数年工事量、工事展開を踏まえた、契約後ＶＥの提案が期待できる。双方向提案型契約後ＶＥの実施。
③契約後ＶＥは、次年度以降の工事設計に反映することによる縮減（次年度以降工事への縮減効果）



都市再生機構